

# 北見の清月 創業80周年記念



菓子製造販売の清月(北見)は創業80周年を記念し、新ブランド「きたみあずき屋」を立ち上げる。北見産小豆を原料に使ったようかんやクッキーなど、まずは5種類の新品を6月1日に発売し、品ぞろえを充実させていく。(日栄隆使)

新ブランド「きたみあずき屋」の新品をPRする渡辺社長

# 地場産小豆で菓子ブランド

## きたみあずき屋

創業当初からの看板商品「薄荷羊羹」が小豆を主原料にしていることから、同社は新ブランドのネーミングに「あずき」を取り入れ、80周年を迎える会社として、原点に立ち返る意味を込めた。同社は通常、主に十勝産小豆を使用している。他社も、

北見産小豆を前面に出した商品をほとんど販売していないことに着目。試作品を作ったところ、十勝産にはない味わいを引き出したため、小豆はすべて北見産とした。きたみらい農協の協力も得て、昨春から準備を開始。北見

市内の小豆畑に通って生産者の話を聞いたり、菓子職人と意見を出し合ったりして、新しいブランドと商品を具体化させた。新商品の「ようかん」は80周年にちなみ、八角形の一口サイズで金粉をあしらった。「どら焼き」は通常より一回り小さいサイズで中身はこしあん。「ク

ッキー」は小豆を練り込み、「ぱうんど」は抹茶風味のパウンドに蜜に漬けた小豆が入っている。「ゆずろーる」はゆず風味のロールケーキだ。渡辺主人社長は「北見産小豆のおいしさを再認識した。新ブランドを通して、多くの人に伝えたい」と話している。

## ようかん、クッキー… 新商品5種 1日発売



夜空を彩る打ち上げ花火と、ライトアップされたシバザクラ

### 花火とシバザクラ 彩る幻想

東藻琴の公園 ライトアップあすまで

【大空】芝桜まつり会場、シバザクラと花火の幻想的な競演を楽しんだ。空が薄暗くなった午後7時に照明が点灯。初日は好天に恵まれ、来場者約800人が明るく浮かび上がった。

たシバザクラを見入った。打ち上げ花火は午後8時半に始まり、春の夜空に色とりどりの花を咲かせた。家族と訪れた網走中央小1年の成瀬こころさん(6)は「外は寒かったけど、花火がきれいだった。思い出になった」と笑顔をのぞかせた。

ライトアップは24日までの午後7時〜午後9時。この期間中、花火は午後8時半から打ち上げられる。入園料は中学生以上が200円、小学生が100円。幼児以下は無料。問い合わせは芝桜公園管理公社 ☎0152・66・3111へ。(斉藤直史)

## 30回の節目「木ラエス」にぎわい

「オホーツク「木」のフェスティバル」(実行委主催)が22日、サンライフ北見(北見市東三輪)などで始まった。今年30回の節目で、管内の木材関連業者ら184団体が出品した家具や工芸品など約3400点が展示即売され、市民らが大勢訪れた。24日まで。

### デザインコンペ、展示即売…北見であすまで

会場では置戸町特産の木工芸品「オケクラフト」の制作実演や、歴代フェスティバルのポスター展なども行われている。実行委員長を務める加賀谷木材(津別町)の加賀谷雅治社長は「木に関するさまざまな情報発信をしているので、楽しんでほしい」とPRしている。(桑折しのぶ)



## 記念切手シート発売

豊かな自然、生態系描く



【斜里】知床財団は、知床の世界自然遺産登録10周年を記念した切手シートを販売している。町内の絵本作家あかしのぶこさんが描いた、知床の豊かな生態系



知床の世界遺産登録10周年を記念した切手シート

と生物多様性を表現した記念ポスターの絵を活用した。知床を訪れた人に10周年をPRしようと企画した。収益は、知床の自然を守るために使用する。

切手シートは52円と82円の2種類で、いずれも1シ

ートに切手10枚。52円はシヤチヤクリオネが描かれた海の絵柄で1200円。82円はヒクマヤシマフクロウが描かれており、1500円。それぞれ千シート限定で、知床自然センター(町岩尾別)と羅臼ビジターセンター(根室管内羅臼町)で販売している。通信販売も可能。問い合わせは知床自然センター ☎0152・24・2114へ。(米田真梨子)

27面にもオホーツク版来て見て遊んで、がんばれファイターズ